

様式第4号（第11項関係）

審議会等の名称	令和6年度第2回青少年問題協議会
開催日時	令和7年2月18日（火） 午前10時00分～11時30分
開催場所	市役所 大会議室
出席委員の氏名又は人数	片山象三会長、遠藤一博副会長、前田由香里委員 藤原咲子委員、上井千里委員、橋本智稔委員 筒井研策委員、吉竹奉文委員、徳岡唯行委員 下野 綾委員、村上佳也委員、藤原健二専門委員
欠席委員の氏名又は人数	上月 都委員、柴垣美紀委員、田中義之委員 新保安章委員、内藤兵衛委員、笹倉和史委員 大橋正子委員、坂本修三委員、多賀伸行委員 宮崎春貴専門委員、小林卓矢専門委員
出席職員の職・氏名又は人数	教育創造部長 足立英則、はぴいくサポートセンター長 村井真紀、学校教育課主幹 宮下晋一、青少年センター主査兼所長 小林賢也、専門員 森本純生
公開・非公開の別	公開
非公開の理由	
傍聴人の数	0人
議題又は協議事項	協議事項 不登校児童生徒の登校及び社会的自立に向けた取組みについて
会議の記録（概要）	
発言者	発言内容等
会長	1 開会 市民憲章朗唱 2 あいさつ 3 委嘱状交付
副会長	4 報告事項 西脇市における青少年問題の現状と課題について各幹事から説明をお願いします。

幹事	<p>(1)少年非行の概要について  兵庫県の件数について説明します。  令和6年中に少年を検挙した件数は前年と比べて増加しており、その中で一番多いのは窃盗で45%を占めています。  少年補導の件数は前年度より減少しています。  西脇警察署管内の状況は犯罪少年の件数は前年度と比べて減少しており、内容は暴行や傷害、窃盗、器物損壊となっています。  14歳以下の触法少年の事案については、前年度と同数になっており、内容は傷害や窃盗、軽犯罪法違反となっています。  令和6年中の西脇警察署管内における少年事件については、前年度より低い数値となっており、比較的落ち着いている状況です。  少年補導の状況については増加していますが、警察官のパトロールが行き届いていることが反映されていると考えています。  補導の内容としては、深夜徘徊、喫煙が多くを占めています。</p>
幹事	<p>(2)家庭児童相談等の概況について  令和4年度と5年度については、虐待の相談件数は減少していましたが、今年度は増加する見込みとなっています。  母子・父子自立支援員相談については昨年度と比較して増加しています。  増加の要因としては、令和6年8月1日から、配偶者暴力相談センターを設置しており、DV自体の増加もありますが、センターの設置により、webでの証明書の発行や、保護命令の証明発行等が可能になり、相談件数が上がったと考えています。</p>
幹事	<p>(3)児童生徒の問題行動件数について  小学校中学校ともに、けんか、その他、生徒間暴力が多くなっています。  生徒間暴力やけんかの主な理由は、中学校では口論や部活動でのトラブル、小学校でも口論等が見受けられます。</p>

	<p>また、その他の項目では、指導無視、授業エスケープ、動画の無断拡散等SNSトラブルが見受けられます。</p> <p>いじめの原因では、悪口、仲間外れ、ちょっかい等が見受けられます。</p> <p>不登校児童生徒の状況については、原因は様々で、登校する意欲の低下や、ゲーム等による生活リズムの乱れ、学業の不安等があります。</p>
副会長	<p>ただ今の報告について質問はありませんか。</p>
委員	<p>深夜徘徊について、警察の少年非行の概要では中学生の人数が報告されていますが、青少年センターの問題行動件数では報告ではあがっていないのはなぜですか。</p>
幹事	<p>警察官が補導した場合、帰宅を促し保護者に連絡をするのですが、学校へ報告は行わないので、このような結果になっていると考えます。</p>
副会長	<p>他にありませんか。</p>
委員	<p>母子父子自立支援員相談の生活一般相談が多いものはなぜですか。また、不登校児童生徒も増えており、本日協議が行われると思うのですが、中身について教えてください。</p>
幹事	<p>生活一般相談で多いものは、配偶者暴力相談支援センターを設置した関係から、配偶者間の暴力相談が多くなっています。また、離婚に関して、今後どのようにしていけばよいか。といった相談も多くなっています。</p>
幹事	<p>不登校児童生徒の人数は年々増加しており、今回の協議会において、不登校児童生徒の社会的自立に向けた取り組みについてご協議をいただき、その結果を市の不登校対策に反映させていくよう考えております。</p>
幹事	<p>補足説明いたします。</p>

	<p>長期欠席の定義は、8月末で10日以上、12月末で20日以上、3月末で30日以上欠席した児童生徒が不登校となります。</p> <p>資料では、12月末で20日以上欠席した児童生徒数となっており、1月末では欠席日数が30日となるため、若干減ることもがあります。</p> <p>不登校児童生徒の人数は増え続けるのではなく、現在の人数ぐらいで推移するのではないかと考えています。</p>
副会長	<p>配偶者暴力相談支援センターの設置により相談がしやすくなったことや、いじめについては小さいことでも発見し、指導につなげていこうとする積極的なアクションが、件数の増加に繋がっている。ということになります。</p> <p>その他に質問はありませんか。</p> <p>無いようでしたらこれにて質疑を終了し、協議事項に移ります。</p> <p>幹事から提案説明をお願いします。</p>
幹事	<p><b>【協議事項により提案説明】</b></p>
副会長	<p>本協議会において、過去にも不登校に対する協議は行われておりますが、今回は週に1回も通学できていない、また、全欠に近い児童生徒に対しての対応ということで焦点を絞った協議内容になります。</p> <p>まずは、現状を把握するというところで、西脇小学校長の上井委員ご意見をお願いします。</p>
委員	<p>本校にはサポートルームが設置されていることから不登校児童支援員が配置されており、また、タブレット端末を活用し、授業のオンライン配信等を行い、不登校児童と学校との繋がりが途切れないようにしています。</p> <p>他にも、はればれ教室を利用している児童もいます。</p> <p>不登校児童生徒の状況は個々に違うので対応は難しいですが、成功事例などを職員間で共有し、個々の状況に合わせた対応しています。</p>

副会長	次に、西脇工業高等学校の橋本委員お願いします。
委員	<p>高校は小中学校と違って出席しないと進級できない事態になります。</p> <p>確かに、不登校は自分を見つめなおす期間ではあるのですが、タイムリミットが迫ってきます。</p> <p>不登校を経て進路変更になる場合、県立高校から県立高校への転学は難しく、また、県立高校から県立高校に転学した場合、欠席日数は引き継がれます。</p> <p>さらに難しいのは、全日制の県立高校から全日制の私立高校は、ほぼ受け入れてもらえません。</p> <p>しかし、いじめに起因する転学は弾力的に見てもらえることがあります。結果的には選択肢が少なく、通信制か定時制になります。</p> <p>最終的には、本人がどこで力を出したいか。ということが一番大事になるので、情報提供ができるようにしています。</p> <p>小中学校とは、システムの的に違いがあることをご理解いただければと思います。</p>
副会長	<p>小学校、中学校、高校と、段階に応じた役割や対応の違いを理解することは大事なことかと思いました。</p> <p>それでは、学校からの説明がありました。次に教育委員会の取組の説明をお願いします。</p>
幹事	【資料により説明】
副会長	これまでのところでご質問はありませんか。
委員	<p>様々な対応や取組を聞かせていただきましたが、子ども食堂や南会等のボランティアも、そういった取組につながるのではないかと思いました。</p> <p>また、最近では、民間の学習塾が不登校生徒を受け入れる。といった広告を見ましたが、このような取組は、本日協議する取組の一つになるのか、または、全く別の取組になるのか。どのような認識になるのかお伺いします。</p>
幹事	西脇市内にはありませんが、県内にはフリースクー

副会長	<p>ルがあり、学校長や教育委員会が認める教育内容であれば「出席扱い」にする。といった制度があります。</p> <p>このように、居場所となるような施設がたくさんあり、選択肢が増えることは良いことと考えています。</p> <p>他にご質問はありませんか。</p> <p>保護司の徳岡委員お願いします。</p>
委員	<p>スクールソーシャルワーカーの配置について、この方は、学校の先生ではない方が生徒の相談に乗っておられるということでしょうか。</p>
幹事	<p>スクールカウンセラーとスクールソーシャルワーカーについて整理をさせていただきます。</p> <p>スクールカウンセラーは、児童生徒や保護者の悩み相談を受ける役割を担っています。</p> <p>ソーシャルワーカーは、関係機関との連携を目的とした働きを担っています。</p> <p>問題の聴き取りをした後、適切な関係機関に橋渡しをしていただいています。</p>
委員	<p>スクールカウンセラーは学校の先生が相談に乗られているのですか。</p>
幹事	<p>スクールカウンセラーは、臨床心理士の資格を有する者が配置されており、学校の先生ではありません。</p> <p>相談の対象は児童生徒や保護者、先生に対してカウンセリングを行っています。</p>
委員	<p>児童生徒が相談するということは敷居が高いと感じるので、カウンセラーが学校におられることは、非常に心強く感じます。</p> <p>相談の件数についてはどのくらいありますか。</p>
幹事	<p>スクールカウンセラーの相談件数については、令和6年4月から令和7年1月までの延べ人数で、生徒約500名、保護者約100名、教職員約800名となっています。</p> <p>内容としては、不登校や友人問題、家庭の問題、発</p>

副会長	<p>達障害等の相談が多く寄せられています。</p> <p>様々な資格を持った専門員が相談を受けることもあれば、学校の教員や元教員が相談を受ける等、様々な窓口を設け対応しているので、相談する方も事案に応じて選んでいただいているところです。</p>
副会長	<p>それでは、各委員から家庭や保護者としてのご意見を伺います。</p> <p>子どもと家庭の信頼関係の構築、生活リズムを整えること、また、家庭と学校との連携といった言った観点でご意見をいただければと思います。</p> <p>公募委員の前田委員お願いします。</p>
委員	<p>子どもが学校に行きたくない。と言った時にどのように対応すればよいか。これは保護者にとって永遠の課題のように思え、答えが無いのではないかと感じています。</p> <p>無理矢理学校に行かせると嫌になってしまう。休ませれば癖になってしまう。と考えてしまい答えが出せません。</p> <p>また、先ほどの報告で不登校児童生徒が多いことに驚きました。</p> <p>そこで、教室には行けないが保健室には行ける。という子がいると聞いたことがあります。</p> <p>しかし、保健室登校の場合、出席日数にカウントされない。また、出席日数が高校受験に影響する。と聞いたことがあります。詳しく教えてください。</p>
幹事	<p>サポートルームでも保健室でも、学校内での活動は登校であり「出席」になります。</p> <p>また、「出席扱い」という対応があり、出席とイコールとまではいかないのですが、はればれ教室やフリースクールで、学校長や教育委員会が認める教育課程を実施している施設に通級している場合は「出席扱い」となります。</p> <p>その場合、高校進学時には、欠席日数のみを伝えることになっているため、進学時に不利になることはありません。</p>

副会長	<p>先ほど委員から、欠席日数が進路に影響するのではないか。との質問が出ましたが、不登校生徒の進学についての取組について、幹事からご説明をお願いします。</p>
幹事	<p>小学校に通学できていなかった子でも、たくさん声をかけていただきエネルギー貯めて、中学校に進学するタイミングで、また新しい自分になろうと思い、登校を始める子もいます。</p> <p>同じように、中学1年の時に不登校だった子でも、中学3年になり目の前に進学が迫ってくると、貯めてきたエネルギーに火をつけて、登校することがあります。</p> <p>不登校生徒に対して家庭訪問を行っていますが、繰り返し訪問を行うことで、自分の想いを伝えられるようになり、登校できるようになる生徒がいます。</p> <p>そして、ほぼ全ての生徒が進学を決めることができます。</p> <p>他にもはればれ教室がきっかけになり、学校とつながり登校できるようになった生徒もいます。</p> <p>また、中学3年生の通級生徒に対しては、はればれ教室で進路指導を受けています。</p> <p>他にも、今年度から設置された校内サポートルームは大きな役割を果たしていると思っています。</p> <p>保健室に登校していた生徒がサポートルームを活用し、リズムを整え教室に来ることがあります。</p>
幹事	<p>どの不登校児童生徒にも共通して言えるのは、親も子どもも不安を抱えているということです。</p> <p>その不安が安心感に変わるような取組について考えています。</p> <p>放課後に配布物を届けに行くだけの家庭訪問や電話連絡だけでは先生の想いが伝わらないので、出会う日と時間を決めておき、この日のこの時間はあなたのために時間を割いている。ということを示すことで子どもに安心感が生まれることがあります。</p> <p>また、本年度から配置された不登校児童生徒支援員の存在は大きく、教員は授業があるため、サポートルームを利用している児童生徒と長い時間接することが</p>

<p>副会長</p>	<p>できませんが、支援員は長時間接することができるため、支援員の勤務時間終了時に寂しがる児童生徒も存在します。</p> <p>地域活動においての関わりについてご意見を伺います。</p> <p>今回欠席の委員からご意見を預かっているので、幹事から報告をお願いします。</p>
<p>幹事</p>	<p>主任児童委員の大橋委員から、本日の協議会に向けて、取り組みや、意見を伺っておりますので、報告いたします。</p> <p>現在、特別支援学校に通学している生徒の支援を行っています。</p> <p>母親も特性をお持ちなので、学校が実施している保護者面談の際には、学校の許可を受け同席させていただくことがあります。</p> <p>また、授業の見学をすることもあります。</p> <p>学校の先生は、教育のプロですが、精神面等の内面理解は難しく、対応で悩まれておられ、保護者と意見が食い違うなど大変な思いをされています。</p> <p>しかし、そのような中、本人はすごく前向きで、楽しみを見出し、未来に向けて頑張っています。</p> <p>他のケースでは、過去にDVで母子分離を経験し、高校も退学するなど、つらい思いをされた子と関わりを持っていました。</p> <p>その子は、今ではしっかりと子育てをしており、立派な母親に成長しています。</p> <p>様々な問題を抱えている子に対しては、何気ない会話でもよいので、会話を重ねていくことで、関係性が築け、そのことをきっかけに自立していくと考えています。</p> <p>ただ、凄く時間がかかるので、諦めず、根気よく続けていくことが大事だと思います。</p> <p>また、家庭環境の影響も大きく、保護者との関わりも重要な要素になるため、関係機関の力を借りることも重要と考えています。</p> <p>との意見を預かっております。</p>

副会長	<p>他の委員からも意見を伺います。</p> <p>不登校傾向の子どもが積極的に前向いて、様々な行事に参加しているようなことがあれば、ご報告ご意見としていただきたいです。</p> <p>補導委員の村上委員お願いします。</p>
委員	<p>我々は青少年補導委員として夜間に巡回補導を実施しています。</p> <p>補導委員とは言え、不登校の子どもへの声掛けは難しいものがあります。</p> <p>そのような中でも、おはよう、こんにちは、いってらっしゃい。等の声掛けは手軽にできるので、明るく挨拶をしていければと思います。</p>
副会長	<p>他の委員からご意見はありませんか。</p> <p>子ども会の下野委員お願いします。</p>
委員	<p>子ども会の中でも、不登校の子どもがいたことがあります。</p> <p>その子は、楽しそうに子ども会の行事に参加していたので、どうすればクラスに戻れるか息子とも話をしたことがありました。</p> <p>子ども同士も話をし、また、親同士のつながりが築け、話ができる機会もあるので、子ども会は心強い存在だと感じています。</p>
副会長	<p>様々な方がそれぞれの立場で声掛けを行っていただいていることが理解できました。</p> <p>学校に配置されている不登校児童生徒支援員は、全ての方が元教員ではなく、地域の方が支援員として従事されています。</p> <p>このように、地域の方の目から子どもたちを見てくださっていることは、先生が目線とは違ったものになるので、両方の目線は効果があるとの報告をいただいています。</p> <p>様々なご意見をいただきましたが、時間となりましたので、事務局からまとめをお願いします。</p>
幹事	<p>ご意見を伺う中で、キーワードとして安心や居場所</p>

<p>副会長</p> <p>幹事</p>	<p>が、今求められていることではないかと思いました。</p> <p>そこで、最近耳にした好事例を紹介します。</p> <p>はればれ教室に通級しており、主任児童委員や多くの方の支援を受けていた子が、その後、自分のやりたかった方面への専門学校に進学しました。</p> <p>また、複雑な家庭環境の中、主任児童委員やこども食堂等の支援等を受け、はればれ教室に入級し進学した後、地元就職し、今では、家庭を支える存在にまで成長しています。</p> <p>その子が最近はればれ教室を訪れ、話を聞かせてくれました。</p> <p>この子たちにとっては、はればれ教室が安心できる場所であり、また、主任児童委員や子ども食堂等の関りが社会的自立に繋がったのではないかと思います。</p> <p>このように、何らかの支援があると結果に繋がっていく。また、中学校を卒業し進学にたどり着くと、社会的自立に繋がっていく。</p> <p>こういった好事例を集めて保護者に伝えることができれば、不安の解消や希望を持って前に進んでいただけたらと考えています。</p> <p>そこで、事務局としてできることは、学校や保護者から好事例を集めてお届けすることを実行していきたいと考えています。</p> <p>本協議会の委員の皆様は、様々な立場で青少年の健全育成に携わられているので、今後も何かご意見がございましたら、情報提供いただき考えていきたいと思っております。</p> <p>本日の協議が新たな活動につながるよう取り組んでいきたいと思っております。</p> <p>今、安全と安心というキーワードが出ました。</p> <p>このような成果を家庭に提供することで、不登校の子どもたちが前進しようとする力を回復してくれるような成果があるのではないかと考えるので、これから取り組み進めていきたいと思っております。</p> <p>それでは、予定しておりました協議が全て終了したので事務局にお返しします</p> <p>遠藤副課長ありがとうございました。</p>
----------------------	--

